

平成28年度 外国人留学生のための東京藝術大学大学院 音楽研究科（修士課程）学生募集要項

1. 大学院音楽研究科アドミッション・ポリシー

大学院音楽研究科は、高度に専門的かつ広範な視野に立ち、音楽についての深遠な学識と技術を授けること、音楽に関わる各分野における創造、表現、研究又は音楽に関する職業等に必要な優れた能力を養うこと、さらには自立して創作、研究活動を行うに必要な高い能力を備えた教育研究者の養成を目的としている。

この教育理念に基づき、本研究科は、音楽に関しての豊富な知見、高度の技術と卓越した研究能力を持ち、なおかつ、幅広い視野や興味・関心、柔軟な感性、独創的な構想力、論理的な思考力、強い意志が求められている。

2. 出願資格

出願できる者は、外国の国籍を有し、次の各項の1つに該当する者で、かつ、以下の（1）または（2）に該当するもの

1. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第83条に規定する日本の大学を卒業した者（平成28年3月卒業見込の者を含む）
2. 学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定（大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者（平成28年3月までに学士の学位を取得見込の者を含む）
3. 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
4. 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
5. 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
6. 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成28年3月までに修了見込の者を含む）
7. 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
8. 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達したもの

（1）国費外国人研究留学生であって、かつ6ヶ月以上国費外国人研究留学生として本学に在学していた者

（2）下記の①および②の条件を満たしている者

①大学を卒業した者（平成28年3月卒業見込の者を含む）もしくは大学を卒業していないが、それと同等以上の学力があると認められる者で、出願する下記3. の専攻・研究分野の専攻者またはそれと同等以上の能力があると認められるもの

②本学大学院の講義および演習を十分に理解できる程度の日本語の能力があると認められる者

※上記出願資格（2）①の下線部分に該当する者（大学を卒業していない者）は、事前に出願資格審査を受ける必要があるため、至急音楽学部教務係に必要書類を請求し、次の提出期間までに提出すること。

提出期間：平成27年11月25日（水）から平成27年12月4日（金）まで

提出先及び問い合わせ先：音楽学部教務係 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 TEL 050-5525-2309

3. 募集する専攻・研究分野および募集人員

| 専攻 | 研究分野 | 募集人員 |
|-------|-------------------------------|------|
| 作曲 | 作曲 | 各若干名 |
| 声楽 | 声楽 | |
| オペラ | オペラ【平成28年度新設】 | |
| 器楽 | ピアノ・オルガン・弦楽・管打楽・室内楽・古楽 | |
| 指揮 | 指揮 | |
| 邦楽 | 三味線音楽・箏曲・尺八・能楽・能楽囃子・邦楽囃子・日本舞踊 | |
| 音楽文化学 | 音楽学・音楽教育・音楽文芸・音楽音響創造 | |

※応用音楽学研究分野及び芸術環境創造研究分野は「大学院国際芸術創造研究科アートプロデュース専攻（修士課程）」に改組するため、平成28年度大学院音楽研究科（修士課程）入学試験においては、両研究分野としての募集を行わない。

4. 標準修業年限

2年

5. 選抜方法

試験科目の成績、および提出された書類等の各資料を総合して判定する。

6. 試験科目

後掲「試験内容および課題曲等」を参照すること。

※過去2年分の入試問題は、音楽学部教務係に請求できる。

（音楽学研究分野については、楽理科研究室でも閲覧できる。）

7. 試験日

平成28年2月 8日（月）【オルガン研究分野、古楽研究分野〈バロックオルガン〉】レジスタータイム

平成28年2月 9日（火）【作曲専攻】

平成28年2月10日（水）【指揮専攻、邦楽専攻、オルガン・管打楽・古楽の各研究分野】

平成28年2月12日（金）【声楽専攻、オペラ専攻、ピアノ・弦楽・室内楽・音楽学・音楽教育（※）
・音楽文芸・音楽音響創造の各研究分野】

（※）音楽教育研究分野志願者の「楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験」は、その楽器等または音楽学を主専攻とする者の「実技または筆記試験日」と同一の日に実施する。

（注）①試験に関する諸事項（日程・科目・集合時刻等）および合格者発表は、掲示及び本学ホームページにより行う。

②上記の試験日程は、出願者の状況によって変更する場合がありますので、必ず受験者本人が以下に示す日程揭示日に確認すること。

| |
|---|
| <p>日程揭示日（全専攻）：平成28年2月1日（月）16時以降 ホームページは揭示の1時間後（17時以降）掲載予定</p> |
|---|

8. 出願手続

(1) 願書受付期間

平成28年1月4日(月)から8日(金)の期間内に、大学(音楽学部教務係)へ直接持参したものを受け付ける。受付時間は、9:00~12:30 及び 13:30~16:30 とする。代理人持参による出願も認めるが、その際志願者は代理人に、出願手続を委任する旨の「委任状」を託すること。海外在住者の場合は郵送による願書提出も受け付ける。その際は、平成28年1月4日(月)から8日(金)までの消印のあるものを受け付ける。封筒表に「平成28年度外国人修士願書在中」と朱書きすること。なお、上記の期間外のものはいかなる理由があっても受け付けない。

願書提出先(持参)

東京都台東区上野公園12-8 東京藝術大学音楽学部教務係 TEL 050-5525-2309

願書提出先(郵送)

Educational Affairs Section of the Faculty of Music
Tokyo University of the Arts
12-8 Ueno Koen, Taito-ku, Tokyo, Japan 110-8714
Tel: +81 (0)50 5525 2309

(2) 検定料

①金額：36,000円

(注) 国費外国人留学生は検定料納入不要。

②振込期間：平成28年1月4日(月)～8日(金)

③納入方法：

検定料は、銀行振込による納入とする。ただし、それが困難な場合に限り現金〔日本国通貨〕持参による納入も認める。

1. 日本国内の金融機関窓口での振り込み

- ・この要項に添付している「振込依頼書(A・B・C票)」を使用すること。
- ・取扱金融機関は次の通りである。
都市銀行・信託銀行・地方銀行・信用金庫・信用組合・農業協同組合・ゆうちょ銀行(郵便局)等
(金融公庫では振り込みできない。)
- ・ゆうちょ銀行(郵便局)での振り込みはゆうちょ銀行の口座からのみ可能である。詳しくは振り込みを依頼する店舗に問い合わせること。
- ・振り込み時には別途手数料が必要である。(三井住友銀行本・支店から振り込む場合は手数料が無料になる。)
- ・金融機関ATM(現金自動預け払い機)による振り込みは受け付けない。
- ・振り込み後に返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(修士用)」に貼り付けて提出すること。

| A票 | | B票 | | C票 | |
|---|----------------------|------------------------------------|--------------|--|--------------|
| 振込依頼書 (「東京藝術大学」入学試験検定料) | | 振込金受取書 (「東京藝術大学」入学試験検定料) | | 「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書 | |
| 振込期間(金融機関取扱時期) 平成〇〇年〇月〇日(〇)～平成〇〇年〇月〇日(〇) | | | | | |
| ご依頼日 | 研究分野(楽器)名 | 平成 年 月 日 | 金額 | 概の振込額 | 金額 |
| 平成 年 月 日 | 電信扱 | 金額 | ¥36000 | 金額 | ¥36000 |
| 振込先 | 三井住友銀行 東京公務部 | 振込先 | 三井住友銀行 東京公務部 | 振込先 | 三井住友銀行 東京公務部 |
| 振込種目 | 普通 | 受取人 | 東京芸術大学 | 受取人 | 東京芸術大学 |
| 口座番号 | 151793 | 整理番号 | | 整理番号 | |
| 振込元 | トウキョウゲイジュツダイガク | 志願者 | 氏名(フリガナ) | 志願者 | 氏名(フリガナ) |
| 受取人 | 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 | 手数料 | | 手数料 | |
| 整理番号 | | 収納印 | | 収納印 | |
| 志願者氏名 | | 収入印紙 | | 収入印紙 | |
| 依頼人(志願者) | | | | | |

※【取扱金融機関へのお願い】

- 5桁の整理番号は、氏名頭部へ連続して打電して下さい。
- 収納印はA・B・C票の3ヶ所にもれなく押印して下さい。
- B・C票は、必ず依頼人へお返し下さい。
- 三井住友銀行本支店にて振込の場合の振込手数料は無料となります。(ATM等は不可です)

(取扱金融機関保管) (志願者保管) (大学提出用)

**入学試験検定料振込
 受付証明書提出用紙**

◇銀行等金融機関での振り込みの場合

C票
 「東京藝術大学」入学試験
 検定料振込金受付証明書

金融機関窓口で振り込みをした際、返却されるB・C票のうち、C票を切り離し、志望研究分野(楽器)名・氏名を記入のうえ、「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(修士用)」に貼り付けする。

2. 外国からの送金

- 外国から送金する場合は、下記の要領に従って送金すること。
- 検定料(36,000円) + 自国で発生する送金手数料(送金時に確認すること。) + 日本国内手数料(4,000円)を用意すること。
(送金途中で経由する銀行がある場合、上記以外に経由銀行での手数料が生じる場合がある。)
- 手数料はすべて依頼人負担として送金すること。依頼人負担の指定を行わない場合、手数料を差し引いた残額しか入金されない。
- 振り込み後、「外国送金依頼書(送金銀行の受領印またはサイン入り)」の写しを「入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙(修士用)」に貼り付けて、他の書類とともに提出すること。

| | |
|---|---|
| 送金種類(Type of remittance) | 電信送金(Telegraphic transfer) |
| 通貨(Currency) | 日本円(Japanese Yen) |
| 支払方法(Method of payment) | 通知払(Advice and pay) |
| 手数料(Charge) | 依頼人負担(Borne by Payer)(check "OUR") |
| 送金目的(Purpose of payment) | 検定料(Screening fee) |
| 銀行名(Bank name) | 三井住友銀行 (Sumitomo Mitsui Banking Corporation) |
| 支店名(Branch) | 東京公務部(Tokyo Koumubu Branch) |
| スウィフトコード(SWIFT CODE) | SMBCJPJT |
| 銀行住所(Bank Address, telephone number) | 〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-6-12 1-6-12 Toranomom, Minato-ku, Tokyo Japan TEL. 03-3591-3201 |
| 受取人口座番号(Account number) | 普通預金 151793 (A/C 151793) |
| 受取人(Account name) | 国立大学法人 東京芸術大学 検定料収納口 (Tokyo University of the Arts) |
| 住所(Address) | 〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 (12-8 Ueno-park, Taito-ku, Tokyo Japan) |
| 連絡事項(Message to payee) | ・志願者の氏名(Name of applicant) ・受験研究科, 専攻, 研究分野(Name of the department which you are applying) |

④検定料の返還について：

願書を受理した後は、次の（ア）または（イ）の場合を除き、いかなる理由があっても振り込み済みの検定料は返還しない。

（ア）検定料を振り込んだが、願書を提出しなかった、または願書が受理されなかった場合

（イ）検定料を誤って二重に振り込んだ場合

上記（ア）または（イ）に該当する場合の返還請求の方法は以下の通りとする。

便せん等を使用し、以下①～⑦の項目について記入した「検定料返還請求願」を作成し、「取扱明細書」、「収納証明書」、「C票」のいずれかを添付して、東京藝術大学戦略企画課経理係（郵便番号110-8714 東京都台東区上野公園12-8）まで郵送すること。

①氏名、②住所、③電話番号、④受験予定の専攻・研究分野、⑤金額、⑥返還請求の理由
⑦振り込み先の銀行名・支店名・普通口座または当座口座の別・口座名義（カタカナ）・口座番号

※大学から志願者への返還金額は振込手数料を差し引いた額である。

※返還請求願受領後、返還金の振り込みまで通常約1ヶ月かかる。

※志願者本人が銀行口座を持っておらず、保護者等の口座に返還を希望する場合は、必ずその旨を書いた委任状を返還請求願と一緒に送付すること。

(3) 提出書類

| 書 類 | 用 紙 等 | 注 意 事 項 |
|--|----------|--|
| ① 入学願書 ② 履歴書（入学願書裏面） | 本冊子添付の用紙 | 「受験時の連絡先」欄の余白に国籍を記入すること。 |
| ③ 写真票 | 本冊子添付の用紙 | 出願前3ヶ月以内に撮影した正面・上半身・脱帽の写真（4cm×3cm）を所定の欄に貼る。 |
| ④ 受験票（裏面：返信用郵便はがき） | 本冊子添付の用紙 | 受験票裏面は「返信用郵便はがき」である。受験者自身が、自己の住所・氏名・郵便番号を明記し、切手（郵送先が日本国内の場合は52円切手（速達の場合は332円切手）、日本国外の場合は70円切手）を貼ること。 |
| ⑤ 「東京藝術大学」入学試験 検定料振込金受付証明書 （C票） または 検定料36,000円（現金） | 本冊子添付の用紙 | 検定料36,000円を銀行振込により納入したのち、振込先から受領する『「東京藝術大学」入学試験検定料振込金受付証明書（C票）』を、本冊子に添付している「平成28年度大学院音楽研究科（修士課程）入学試験検定料振込金受付証明書提出用紙（外国人修士用）」に糊付添付すること。 |
| ⑥ 入学手続き書類送付用 宛名ラベルシール | 本冊子添付の用紙 | 最終合格者への書類送付時に使用するラベルシール。必ず志願者本人に書類が届く宛先（日本国内に限る。海外在住者は、日本国内の代理人を指定すること。）を記入する。 |
| ⑦～⑰ 受験曲目提出用紙 | 本冊子添付の用紙 | 提出者は以下のとおり。 ○⑦声楽専攻、⑧オペラ専攻、器楽専攻（⑨ピアノ・⑩オルガン・⑪弦楽・⑫管打楽・⑬室内楽・⑭古楽）、邦楽専攻（⑮尺八・⑯能楽囃子）志願者 ○音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「⑦声楽」、「器楽（⑰ピアノ・⑩オルガン・⑪弦楽・⑫管打楽・⑬室内楽・⑭古楽）」、「邦楽（⑮尺八・⑯能楽囃子）」で受験する者 |
| ⑱ 志望理由書 | 本冊子添付の用紙 | 提出は、器楽専攻（弦楽）及び邦楽専攻志願者。 |
| ⑲ 成績証明書 | 様 式 任 意 | 出身大学長または学部長が証明したもの。なお、日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付する。 |
| ⑳ 卒業（卒業見込）証明書 （又は卒業証書の写し） | 様 式 任 意 | 出身大学長または学部長が証明したもの。なお、日本語以外で記載されている場合は、日本語訳を添付する。 |
| ㉑ 実技担当教員希望届 （声楽・オペラ専攻） | 本冊子添付の用紙 | 提出は、声楽専攻・オペラ専攻志願者、音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を「声楽」で受験する者。 |
| ㉒ 国費外国人留学生 在籍証明書 | 様 式 任 意 | 国費外国人留学生は在籍する大学に対し、その身分を証明する書面の発行を依頼し本学に提出する。 |

（次ページに続く）

| 書 類 | 用 紙 等 | 注 意 事 項 |
|--|---------|---|
| ㉓ 住民票等 | 様 式 任 意 | 日本国内に在住している外国人は、市区町村役所で発行された住民票の写しを提出する。代理人持参による出願の場合には、志願者の旅券のコピーも併せて提出する。 国外から出願する場合は、旅券のコピーを提出すること。 |
| (注意事項) ○「本冊子添付の用紙」は、すべて日本語で記入すること。 ○提出書類の受付後はいかなる理由があっても、書類の変更及び返却はしない。 ○上記提出書類の受理確認後、志願者宛に受験票を郵送する。 | | |

9. 合格者発表

第1次合格者発表（指揮専攻）：平成28年2月1日（月）16時以降音楽学部掲示板及び本学ホームページにおいて発表する。（ホームページは掲示の1時間後掲載予定）

最終合格者発表（全専攻）：平成28年2月19日（金）14時以降音楽学部掲示板及び本学ホームページにおいて発表する。（ホームページは掲示の1時間後掲載予定）

最終合格者には、平成28年2月22日（月）（予定）に入学手続き書類を発送するので、出願時に「入学手続き書類送付宛名ラベルシール」を願書と一緒に必ず提出すること。

※宛名は日本国内に限るため、海外在住者は日本国内の代理人を指定すること。

※合格したにもかかわらず入学手続き書類が平成28年2月26日（金）までに到着しない場合には、音楽学部教務係に連絡すること。

10. 入学料・授業料（国費外国人留学生である者は、納入不要。）

(1) 入学料 338,400円（予定額）

(2) 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）（予定額）

(注) ○在学中に授業料改定が行われた場合、改定時から新授業料が適用される。

11. その他

(1) 受験上の注意事項

受験の際は以下に従うこと。

- ・試験実施日時は、出願者数の多寡により多少変更することがある。その場合、平成28年2月1日(月)午後4時以降、試験に関する注意事項と同時に新日程を音楽学部内に掲示及び本学ホームページで発表するので、受験者本人が必ず確認すること。
- ・試験に関する諸事項は、掲示及び本学ホームページにより発表するので、常に掲示等に注意すること。なお、掲示等で記載された番号は、本学受験票の受験番号である。
- ・実技試験における「試験の順番」は、係員の指示によること。
- ・試験当日は、定められた集合時刻を厳守すること。なお、実技試験において、定められた集合時刻に遅れた者には受験を許可しない。(万一やむを得ない事情により遅れた場合は、ただちに係員に申し出ること。)
- ・試験当日、受験者(伴奏者を含む)は、試験に関する掲示により発表された「集合場所及び控室」に入り、以後はすべて係員の指示に従うこと。
- ・不正行為があった時は、当該試験を失格とし、以後の受験を認めない。
- ・「集合場所及び控室」での発声または楽器の練習を禁じる。また、「集合場所及び控室」から試験場へ行く途中の廊下等においても同様に禁じる。
- ・音出し室、控室にあるピアノの使用を禁じる。ただし、ピアノ研究分野受験者は、係員の指示に従うこと。
- ・受験の際は、常に受験票を携帯し、入構の際は、守衛所の係員に提示して入構すること。万一受験票を忘れた場合には、係員に申し出ること。
- ・携帯電話及び通信機能を備えた電子機器等の使用を禁止する。持ち込んだ場合は、電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- ・食事のために学外に出る場合には、正門出入りの際、守衛所の係員に受験票を提示すること。
- ・試験に関する電話による問い合わせには、原則として応じない。
- ・本学に駐車場はない。

(2) 奨学金支給期間について

現在、国費外国人留学生である者が本学大学院音楽研究科(修士課程)に入学し、その在学中に奨学金支給期間が満了した場合、すべての者に対して支給期間の延長が認められるとは限らない。成績優秀者が所定の選考を経たのち、支給期間の延長が認められるにすぎないので十分注意すること。なお、その他の奨学金に関する詳細は、音楽学部教務係に照会すること。

12. 試験内容および課題曲等

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|----|---|--|
| 作曲 | 作曲 | <p>(イ) 作品審査 下記に定める作品等を平成28年1月22日(金)正午までに直接又は郵送により音楽学部教務係に提出すること。</p> <p>[入試課題曲(提出作品)] 二管編成以上の管弦楽作品およびそれ以外のジャンル(演奏者1~10名まで、声楽を含むも可)の作品各1曲の楽譜を提出する。</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で上記作品の内容や作曲に関する口述試問を行う。</p> |
| 声楽 | ソプラノ(S) メゾソプラノ(Ms) アルト(A) テノール(T) バリトン(Br) バス(B) | <p>① 歌唱実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験演奏曲について、志願者は以下の選択群(A, B, C)の3つの分野から各2曲、計6曲を任意に選び、出願時にその曲目を提出する。受験曲目提出用紙の記入の際には、選択群を間違えないこと。 2. 歌唱実技試験は、提出された課題曲A, B, C各2曲ずつから本学がそれぞれ1曲ずつ指定するので、その指定された3曲を暗譜で演奏する。演奏順は自由。※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙に印刷されたイロハニホへの記号で指定するので、その写しを当日持参すること。 3. 実技試験の制限時間は3曲で9分以内(曲間も含む)とする。それを超える事が見込まれる場合は、志願者が各曲に適宜カットを加え、時間配分することを許す。演奏が制限時間を超える場合は演奏中断の合図をするが、評価上不利になるものではない。(2曲以下の演奏は失格となるので注意すること。) 4. 歌唱実技試験の演奏においてはピアノ伴奏とし、伴奏者は志願者が同伴すること。 5. オペラ、オラトリオ等のアリアにおいては原調・原語で演奏しなければならない。但し、慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。(疑問がある場合は、本学教務係に曲目提出前に問い合わせ、確認を取ること。)これに対し、歌曲の演奏においては原語で演奏しなければならないが、移調は自由である。 <p>【選択群】</p> <p>A群: モーツァルト以降の作曲家(モーツァルトを含む)によるオペラ作品の独唱曲(コンサート・アリア含む)</p> <p>B群: オラトリオ, ミサ曲, カンタータ等の宗教曲独奏曲。バロックオペラ, 世俗カンタータ, マドリガーレ等の世俗的独唱曲</p> <p>C群: 歌曲</p> <p>② 初見視唱</p> <p>③ ピアノ演奏 (自由曲1曲 [暗譜でなくても良い。]) (例: ハイドン, モーツァルト, ベートーベン等の作曲家によるピアノ曲(ソナタ・ソナティネ程度)から任意の楽章。)</p> <p>④ 小論文 (当日出題するテーマについて、日本語で書くこと。)</p> <p>⑤ 面接</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|-----|---|---|
| オペラ | ソプラノ (S) メゾソプラノ (Ms) アルト (A) テノール (T) バリトン (Br) バス (B) | <p>① 歌唱実技試験</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 受験演奏曲について、志願者は以下の選択群 (A, B, C) の3つの分野から各2曲、計6曲を任意に選び、出願時にその曲目を提出する。受験曲目提出用紙の記入の際には、選択群を間違えないこと。 2. 歌唱実技試験は、提出された課題曲A, B, C各2曲ずつから本学がそれぞれ1曲ずつ指定するので、その指定された3曲を暗譜で演奏する。演奏順は自由。 ※演奏曲の指定は、受験曲目提出用紙に印刷されたイロハニホへの記号で指定するので、その写しを当日持参すること。 3. 実技試験の制限時間は3曲で9分以内 (曲間も含む) とする。それを超える事が見込まれる場合は、志願者が各曲に適宜カットを加え、時間配分することを許す。演奏が制限時間を超える場合は演奏中断の合図をするが、評価上不利になるものではない。(2曲以下の演奏は失格となるので注意すること。) 4. 歌唱実技試験の演奏においてはピアノ伴奏とし、伴奏者は志願者が同伴すること。 5. オペラ、オラトリオ等のアリアにおいては原調・原語で演奏しなければならない。但し、慣習的に認められている移調・言語はこの限りではない。(疑問がある場合は、本学教務係に曲目提出前に問い合わせ、確認を取ること。) これに対し、歌曲の演奏においては原語で演奏しなければならないが、移調は自由である。 <p>【選択群】</p> <p>A群：モーツァルト以降の作曲家 (モーツァルトを含む) によるオペラ作品の独唱曲 (コンサート・アリア含む)</p> <p>B群：オラトリオ、ミサ曲、カンタータ等の宗教曲独奏曲。バロックオペラ、世俗カンタータ、マドリガーレ等の世俗的独唱曲</p> <p>C群：歌曲</p> <p>② オペラ適性検査</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 任意のオペラからレチタティーヴォ付きアリアを1曲選び、原語、原調で、また演技付きで演奏をする。 2. 演奏時間は制限しないが、当日試験官による演奏箇所の指定がある。助演は認めない。なお、テーブル・椅子の用意はあるが、小道具については、各自用意の上使用を可とする。 3. 伴奏者用楽譜については、伴奏者が見やすいように1ページA4判のサイズにコピーし、1曲を全開できるように製本したものを提出すること。(下図参照) 表紙には、曲名と名前及び声部を明記すること。伴奏者用楽譜は、平成28年1月29日(金)までに音楽学部教務係に提出すること。 5. ピアノ伴奏者は志願者が同伴すること。 (4頁の楽譜の場合) <div style="text-align: center;"> <p>全開した状態</p> <p>たたく</p> <p>楽譜のつなぎ目をテープ等で貼る</p> <p>表紙ウラが楽譜1頁目となる</p> </div> <p>③ 初見視唱</p> <p>④ ピアノ演奏 (自由曲1曲 [暗譜でなくても良い。]) (例：ハイドン、モーツァルト、ベートーベン等の作曲家によるピアノ曲 (ソナタ・ソナティネ程度) から任意の楽章。)</p> <p>⑤ 小論文 (当日出題するテーマについて、日本語で書くこと。)</p> <p>⑥ 面接</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|------------|-------------|--|
| 器 楽 | ピ ア ノ | <p>(イ) 下記 (A) (B) (C) の曲目で合計 25 分以上のプログラムを提出し演奏する。</p> <p>(A) J.S.Bach, Haydn, Mozart, Beethoven の作品より 1 曲</p> <p>(B) (イ) Chopin の練習曲より 1 曲 (ロ) Chopin 以外の作曲家の練習曲より 1 曲</p> <p>(C) 自由曲</p> <p>I) 演奏はすべて暗譜とすること。</p> <p>II) 当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> <p>(ロ) 面接 日本語でピアノを専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 | |
|------------------|------------------|---|--|
| 器 管 打 楽 | 管 木 打 管 | <p>◎管打楽器共通注意事項</p> <p>○志願者は、試験当日伴奏者を同伴すること。</p> <p>○受験者同士の譜めくりは禁止する。</p> <p>○出版社の指定のないものは、何版でもよい。</p> <p>○演奏箇所は当日指定される箇所を演奏すること。</p> <p>○特に指定のないものは、全楽章とする。</p> | |
| | | フルート (F1) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 下記の a) ~ d) より任意の 1 曲を選択し演奏すること。 (カデンツァを含む)</p> <p>a) W.A.Mozart : Konzert G-Dur K.313</p> <p>b) W.A.Mozart : Konzert D-Dur K.314</p> <p>c) A.Jolivet : Concerto pour Flûte</p> <p>d) 尾高尚忠 : フルード協奏曲 Op.30B</p> <p>2. 自由曲 任意の無伴奏現代曲を 1 曲演奏すること。</p> <p>(ロ) 面接</p> <p>日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | オーボエ (Ob) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert C-dur K.314 より第 1, 2 楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a) ~ e) より任意の 1 曲を選択し、演奏すること。</p> <p>a) E.Carter : Inner Song (Boosey&Hawkes)</p> <p>b) A.Dorati : Cinq pièces pour le hautbois より第 1 曲と第 5 曲 (Boosey&Hawkes)</p> <p>c) H.Holliger : Sonate für Oboe solo より I Präludium と II Capriccio (Schott)</p> <p>d) G.Silverstrini : Six études pour le hautbois より 第 1 曲と第 6 曲 (Edition du Hautbois)</p> <p>e) I.Yun : Piri oboe solo (Bote&Bock)</p> <p>(ロ) 面接</p> <p>日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | クラリネット (Cl) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert A-Dur K.622 より 第 1, 2 楽章</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p> <p>(ロ) 面接</p> <p>日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | ファゴット (Fg) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert B-Dur K.191 (186e) (カデンツァなし)</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p> <p>(ロ) 面接</p> <p>日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | サクソフォン (Sx) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 J.Ibert : Concertino da Camera</p> <p>2. 自由曲 (任意による 1 曲)</p> <p>(ロ) 面接</p> <p>日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | | 試験内容および課題曲等 |
|------------------|-------------|--|--|
| 器 管 打 楽 | 管 打 楽 | ホ ル ン (H r) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 W.A.Mozart : Konzert Nr.2 Es-Dur K.417 より 第1楽章</p> <p>2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) R.Strauss : Konzert Nr.1 Es-Dur Op.11 b) Hermann Neuling : Bagatelle für tiefes Horn und Klavier c) R.Schumann : Adagio und Allegro Op.70</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | ト ラ ン ペ ット (T p) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 H.Tomasi : Concerto 第1楽章 (カデンツァを含む)</p> <p>2. 自由選択曲 a) ~ c) より任意の1曲を選択し、演奏すること。 a) J.W.Hertel : Concerto No.3 in D 第1, 2楽章 b) G.Ph.Teleman : Concerto in D 第1曲 (Adagio) と第4曲 (Allegro) c) L.Mozart : Concerto in D 全楽章</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | ト ロ ン ボ ーン (T b) | <p>テナートロンボーン (T T b)</p> <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 F.Martin : Ballade (Universal Edition) G.Ch.Wagenseil : Concerto * (Universal Edition) *アルトトロンボーンで演奏すること。カデンツァは自作創作も含め自由。</p> <p>2. 自由曲なし</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | 管 | <p>バストロンボーン (B T b)</p> <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 T.Albinoni : Sonate en Ré majeur adaptée pour Trombone basse et piano (Gérard Billaudot)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | ユ ー フ ォ ニ ア ム (Eup h) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 J.Horovitz : Euphonium Concerto (Novello)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | チ ュ ー バ (T u) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 K.Penderecki : Capriccio Eugène Bozza : Concertino pour Tuba en Ut ou Saxhorn Basse en Si bémol et Orchestre ou Piano (Alphonse Leduc)</p> <p>2. 自由曲なし</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | | 打 楽 器 (P c) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 課題曲 F.Dupin : Myriades (Alphonse Leduc)</p> <p>2. 自由曲 (任意による1曲)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で管打楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|------------------|--|--|
| 器 室 内 楽 | 弦楽四重奏 | <p>◎室内楽共通注意事項 (弦楽四重奏・ピアノ三重奏・二重奏・木管五重奏) ○個人で受験する場合、志願者は当日、共演者を同伴すること。 ○課題曲は、特別の指定がないものは、全楽章とする。繰り返しは省略する。 ○当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> <p>(イ) 実技試験 グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven : Op.18 の 1 - 6 2. 次の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Beethoven : Op.59 の 1, 2, 3, Op.74, Op.95 3. 次の作曲家の弦楽四重奏曲の中から任意の1曲 Ravel, Janáček, Prokofiev, Bartók, Shostakovich (個人での受験は認めない)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で室内楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。 その資料として簡単な作文をさせる。</p> |
| | 三 重 奏 ピアノとヴァイ オリンとチェロ | <p>(イ) 実技試験 グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Haydn 全曲, Mozart 全曲, Beethoven 全曲 2. 次のピアノ三重奏曲の中から任意の1曲 Faure, Ravel, Shostakovich (第1番, 第2番) 3. 上記の1, 2以外のピアノ三重奏作品から1曲 (個人での受験は認めない)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で室内楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。 その資料として簡単な作文をさせる。</p> |
| | 二 重 奏 ピアノとヴァイ オリン, ヴィオ ラ, チェロ | <p>(イ) 実技試験 I グループで受験する場合 課題曲は、次のA・B・C群の中から各々1曲ずつ選び計3曲を演奏する。</p> <p>①ヴァイオリンとピアノの二重奏 A群 Mozart : Sonate für Klavier und Violine B-dur KV454 Sonate für Klavier und Violine A-dur KV526 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violine (全10曲) Schubert : Sonate für Klavier und Violine A-dur Op.162 D574 B群 Stravinsky : Duo concertante pour violon et piano Prokofiev : Sonate Nr.1 für Violine und Klavier Op.80 Bartók : Violinsonata No.1 Violinsonata No.2 Ravel : Sonate pour violon et piano (3楽章形式) Webern : 4 Stücke für Violine und Klavier Op.7 C群 A, B群の作曲家以外のヴァイオリンとピアノのための二重奏作品。</p> <p>②ヴィオラとピアノの二重奏 A群 Hummel : Sonate für Viola und Klavier Es-dur Schubert : Sonate für Klavier und Arpeggione a-moll D821 Ausgabe für Viola Schumann : Marchenbilder Op.113 B群 Bowen : Sonate für Viola und Klavier No.1 Op.18 R.Clarke : Sonate für Viola und Klavier Hindemith : Sonate für Viola und Klavier Op.11-4 Hindemith : Sonate für Viola und Klavier,1939 Shostakovich : Sonate für Viola und Klavier Op.147 C群 A, B群の作曲家以外のヴィオラとピアノのための二重奏作品。</p> |

(次ページに続く)

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|------------------|--|--|
| 器 室 内 楽 | <p style="text-align: center;">二重奏 ピアノとヴァイ オリン、ヴィオ ラ、チェロ</p> | <p>③チェロとピアノの二重奏 A群 Beethoven : Sonaten für Klavier und Violoncello (全5曲) B群 Shostakovich : Sonate für Violoncello und Klavier d-moll Op.40 Prokofiev : Sonate für Violoncello und Klavier Op.119 Fauré : Sonate pour violoncelle et piano No.1 Op.109 Sonate pour violoncelle et piano No.2 Op.117 Britten : Sonata for cello and piano Op.65 Poulenc : Sonate pour violoncelle et piano C群 A, B群の作曲家以外のチェロとピアノのための二重奏作品。</p> <p>II 個人で受験する場合 各楽器とも下記の1. 2. 3. を演奏する。 1. の課題は暗譜とする。</p> <p>①ピアノ 1. 下記 a) および b) の2曲 a) L.v.Beethoven : Klaviersonate Nr.2 Op.2-2 A-dur, Klaviersonate Nr.7 Op.10-3 D-dur, よりいずれか1曲 (全楽章) b) F.Chopin : Etude Op.10, Op.25 から任意の1曲 (但し Op.10-3, 6, Op.25-7 を除く) 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>②ヴァイオリン 1. 次の中から任意の1曲 (全曲) J.S.Bach : Partita for Violin solo No.1 B minor BWV1002 No.2 D minor BWV1004 No.3 E major BWV1006 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>③ヴィオラ 1. Reger : 3 Suiten für Viola Op.131d より, 組曲第3番の第1楽章 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>④チェロ 1. J.S.Bach : Solo Suiten の中から任意のプレリュード1曲 2. 前記のグループ受験課題曲A群の中から任意の1曲 3. B群から任意の1曲</p> <p>(口) 面接 日本語で室内楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。 その資料として簡単な作文をさせる。</p> |
| | <p style="text-align: center;">二重奏 ピアノとフルート</p> | <p>(イ) 実技試験 グループ受験の課題曲は下記の3曲とする。 1. Schubert : Introduction und Variationen über ihr Blümlein alle Op.160 D.802 2. Prokofiev : Sonate für Flöte und Klavier Op.94 D-Dur 3. Isang Yun : "Garak" for flute and piano (個人での受験は認めない)</p> <p>(ロ) 面接 日本語で室内楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。 その資料として簡単な作文をさせる。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|--------|--------|--|
| 器 古 | | <p>◎古楽共通注意事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 試験当日、演奏する楽章や繰り返しについて指示する。また演奏時間の関係で中断させることがあるが、採点には影響しない。 2) 鍵盤楽器以外の受験者は、チェンバロによる通奏低音奏者を同伴すること。また、バロック声楽受験者が必要なオブリガート楽器は、チェンバロで代用すること。 チェンバロ専攻、バロックオルガン専攻、バロックチェロ専攻の試験に必要なアンサンブル上声部奏者は、本学で用意する。 3) すべて課題曲の演奏順は自由とする。 4) 演奏する作品の楽譜すべてをA4判でコピーし演奏順に重ね、左上1か所をホチキスで留めたものを4部作成し、出願と共に本学音楽学部教務係宛に提出すること。所定の出願用封筒に用意した楽譜が入りきらない場合、出願書類は所定の封筒にて提出し、当該楽譜のみ「古楽受験用楽譜在中」と表書きした任意の封筒にて出願と同時に書留速達により郵送すること。 5) ソロ及び伴奏に使用できるチェンバロは、 <ol style="list-style-type: none"> ① a'=415 のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8''4'ヤング第2調律）と、 ② a'=415 のイタリアンタイプ（音域 C-d''', 8'8''ミーントーン調律）である。 なお、伴奏のために a'=440 のフレンチタイプ（音域 FF-f''', 8'8''4'ヤング第2調律）の使用を希望する場合には、出願書類中の受験曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。 フォルテピアノ専攻試験に使用する楽器は、a'=430 の18世紀末ウィーン式モデル（音域 FF-g'''）である。 6) バロックオルガン専攻の受験者については、下記の点に留意すること。 ※レジスターのためのアシスタントが必要な者は、出願書類中の受験曲目提出用紙の該当箇所にその旨記すこと。アシスタントは本学が用意する。 ※実技試験（ソロ）の行われるオルガンで、レジスタータイム（リハーサル）を2回与える。 ※実技試験（ソロ）の行われるオルガンのディスプレイポジションについては、オルガン科の項（11ページ）を参照のこと。 |
| | 楽 楽 | <p>バロック声楽 (BV○)</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | | 試験内容および課題曲等 |
|----|-------|-------------------------|---|
| 器 | 古 | バロック ヴァイオリン (BVn) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の3つのグループからそれぞれ作品を選んで演奏する。</p> <p>① J.S.Bach：無伴奏ソナタ&パルティータ BWV1001～1006 からソナタまたはパルティータを1曲選び、その中から楽章を2つ演奏する。</p> <p>② 次のイ) またはロ) またはハ) から1曲</p> <p>イ) D.Castello, G.B.Fontana, B.Marini 又は同時代のイタリアの作曲家の作品。</p> <p>ロ) A.Corelli：『ヴァイオリン・ソナタ集』作品5 (1700) のソナタ第1番～第6番のうち1曲 (緩徐楽章には自作の装飾をつけること)。</p> <p>ハ) H.I.von Biber：『ヴァイオリン・ソナタ集』(1681) の中から1曲</p> <p>③ 次のニ) またはホ) から1曲</p> <p>ニ) J.M.Leclair：“Quatrième livre de sonates” Oeuvre 9 (1743)</p> <p>ホ) F.Couperin：“Concerts Royaux” (1722)</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。 (予見時間5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p> |
| | | バロックチェロ (BVc) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～③を演奏する。</p> <p>① 当日指定する調で3オクターヴのスケールを演奏する。テンポは自由，1弓6音または8音，短調は和声的短音階とする。最低音のC以外開放弦を用いない指遣いで弾くこと。</p> <p>② F.Geminiani：Sonata in a, op.5-6</p> <p>③ J.S.Bach：Suite a violoncello solo senza basso No.2～4 から選択した1つの組曲のPrélude, Allemande, Courante (AllemandeとCouranteの繰り返しは省く)</p> <p>2. アンサンブル課題：</p> <p>④ G.F.Handel：Sonate e-moll für Flauto Traverso und Basso Continuo (Hallenser Sonate No.2, HWV 375) の第1，第2楽章を，本学の用意したソロ奏者と，受験生の同伴したチェンバロ奏者とともに演奏する。当日に10分程度のリハーサル時間が与えられる。</p> <p>3. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンバロで実施する。 (予見時間5分)</p> <p>[楽器と弓のスタイル (モダン仕様かバロック仕様かなど) は問わないが，ガット弦を使用すること。基準ピッチはa⁴=415とする。②に関してはチェンバロの通奏低音奏者を同伴すること。版はPeters版またはS.P.E.S (1746年デン・ハーグの版)，③はベーレンライター (2000年出版)，ブライトコップフ (2000年)，東京書籍 (2009年) のいずれか，④はベーレンライター版の現代譜，もしくはS.P.E.S等のファクシミリ版を使用すること。]</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|-----------------------------|-----------------------|--|
| 器 古 楽 | リコーダー (R e c) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の各作品を演奏する。</p> <p>1) A.Virgiliano : “IL DOLCIMELO”より任意のリチェルカータ 1 曲 [ルネサンスまたは初期バロックタイプのリコーダーを使用。管の種類及びピッチ, 移調は自由。]</p> <p>2) J.-M.Hotteterre : Suite 4 (Oeuvre Second 1715) 全楽章 [バロックタイプのトレブルを使用し, ト短調に移調して演奏。ピッチは a'=415]</p> <p>3) J.S.Bach : Partita イ短調 BWV1013 より Allemande, Corrente [ヴォイス・フルート使用の場合は原調, トレブル使用の場合はハ短調に移調して演奏, ピッチは指定しない]</p> <p>4) A.Vivaldi : 協奏曲ハ長調 RV 444 全楽章 [バロックタイプのソプラニーノを使用。ピッチは a'=415]</p> <p>2. 当日与えられる数字付き低音の課題をチェンパロで実施する。 (予見時間 5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p> |
| | チェンパロ (C e m b) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～⑤を演奏する(繰り返しは省略のこと)。</p> <p>①次のA群, B群からそれぞれ作曲家を1人ずつ選び, その2人の作曲家の作品を組み合わせて10～12分のプログラムを組む。 A群 G.Frescobaldi, G.M.Trabaci B群 J.P.Sweelinck, W.Byrd, J.Bull</p> <p>②L.CouperinまたはJ.-H.d’Anglebert またはL.Marchandの組曲を1つ選び, その中からPrélude, Allemande, Courante, Sarabande, Gigue(またはCanarie)を演奏する。</p> <p>③J.S.Bach : Toccata in fis, BWV 910</p> <p>④J.J.Froberger : Tombeau fait à Paris sur la mort de Monsieur Blancheroche</p> <p>⑤A.Forqueray : “Pièce de viole mises en pièces de clavecin”から1曲(4分以内)</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品を演奏する。(予見打ち合わせ時間 5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p> |
| | バロックオルガン (B O r g) | <p>(イ) 実技試験</p> <p>1. 次の①～⑥の各作品を演奏する。</p> <p>①G.Frescobaldi : Aria detto Balletto (※Mitteltönigwerkを使用すること)</p> <p>②J.P.Sweelinck : Hexachord Fantasia</p> <p>③N.de Grigny : Pange lingua (全3楽章)</p> <p>④D.Buxtehude : Es spricht der unweisen Mund wohl, BuxWV 187</p> <p>⑤J.S.Bach : Präludium und Fuge in D, BWV 532</p> <p>⑥J.S.Bach : Allein Gott in der Höhe sei Ehr, BWV 676</p> <p>2. 当日与えられる通奏低音と旋律楽器(または声楽)のためのアンサンブル作品をポジティブオルガンにて演奏する。(予見打ち合わせ時間 5分)</p> <p>(ロ) 面接 志望理由および専門分野に関する簡単な試問。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|----|---------|---|
| 邦 | 能 楽 | <p>(イ) 実技試験 観世流または宝生流による志願者…謡曲独吟「花筐クセ」及び仕舞「花筐クルイ」 下掛宝生流による志願者……………謡曲独吟「花筐クルイ」及び仕舞「春栄」 和泉流による志願者……………小謡独吟「名取川」及び小舞「海老救川」</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | 能 楽 囃 子 | <p>(イ) 実技試験 1. 笛……………「楽」または「神楽」 2. 小鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 3. 大鼓……………囃子「野宮」〈如何なる車ヨリ〉 4. 太鼓……………「楽」または「神楽」</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> <p>※出願の際は所定の用紙（受験曲目提出用紙）に必要事項を記入の上提出のこと。</p> |
| 楽 | 邦 楽 囃 子 | <p>(イ) 実技試験 1. 「船弁慶」（二世杵屋勝三郎作曲）（太鼓・大鼓・小鼓）より任意の楽器を選択。 2. 「英執着獅子」（初世杵屋弥三郎作曲）（笛） 3. 各専攻楽器による五線譜初見試奏 注1) 3以外は暗譜で演奏すること。 2) 1, 2の伴奏者（長唄・三味線）は本学係員が担当する。 3) 楽器は各自持参すること。</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | 日 本 舞 踊 | <p>(イ) 実技試験 1. 男踊り 清元「北州」 2. 女踊り 長唄「京鹿子娘道成寺」 本学の用意したテープで、両曲、試験官の指定した箇所を踊る。</p> <p>注1) 録音テープは、清元はビクター版・清元志寿太夫全集による演奏を、長唄はコロムビア版『日本舞踊吾妻流試験課題曲』より芳村伊十郎による演奏を使用する。音源の入手が困難な場合は、本学音楽学部教務係に連絡すること。 2) 両曲ともに小道具は用いず、扇子及び手拭いをもって代用すること。</p> <p>(ロ) 面接 日本語で邦楽を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|-------|-------|---|
| 音楽文化学 | 音楽学 | <p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽学研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 音楽学 音楽学の基礎的な知識に関する筆記試験。 (注) 試験内容「音楽学」の受験においては辞書の使用を認める。ただし、使用できる辞書は、言語系の紙媒体の辞書1冊のみとする。音楽事典など言語系ではない辞書の使用は認めない。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で音楽学を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | 音楽教育 | <p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽教育研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 楽器等の実技試験または音楽学の筆記試験 【①～⑤のうち1つを選択し受験する】</p> <p>① 作曲を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『作曲専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。</p> <p>② 声楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『声楽専攻における「試験内容および試験曲等」のうち、「①歌唱実技試験のみ』とする。</p> <p>③ 器楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『器楽専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。ただし、ピアノで受験する者の試験課題は、次の通りとする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>下記 (A) 及び (B) を演奏すること。 (A) ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェンのソナタより任意の1曲 (全楽章) (B) ショパン：練習曲 (Op. 10, または Op. 25) より任意の1曲 (注) 1. 演奏はすべて暗譜とすること。 2. 当日、時間の都合により一部省略させることがある。</p> </div> <p>④ 邦楽を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『邦楽専攻における「試験内容および試験曲等」』と同様とする。</p> <p>⑤ 音楽学を選択し受験する場合の試験課題 本冊子掲載の『音楽学研究分野における「試験内容および試験曲等」のうち、「(ロ) 音楽学」のみ』とする。</p> <p>(ハ) 口述試問 日本語で音楽教育を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |
| | 音楽文芸 | <p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽文芸研究分野に関する簡単な論文で、主に修士課程における研究計画をすべて日本語で書くこと。(所要時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 日本語で音楽文芸を専攻する目的および専攻する分野に関する質問に答えるもの。</p> |

| 専攻 | 研究分野等 | 試験内容および課題曲等 |
|-------|--------|---|
| 音楽文化学 | 音楽音響創造 | <p>(イ) 専攻論文 志願者各自の音楽音響創造に関する簡単な論文で、主に志望理由と修士課程における研究計画を日本語で書くこと。(試験時間2時間)</p> <p>(ロ) 口述試問 音楽音響創造において専攻する分野に関する質問に日本語で答えるもの。</p> <p>※ 受験者全員願書提出時に「作品あるいは論考」を提出すること。</p> <p>● 「作品あるいは論考」について 下記(1), (2), (3)のいずれかを提出すること。(返却しない)</p> <p>(1) 音楽作品の制作技法を評価の対象として希望する場合 自作品2～3点(*)とそれぞれの解説。自作品として提出できるのは、録音物、楽譜、あるいはその両方とする。解説は、1作品につきA4用紙4枚以内、公開された作品の場合は、公開の年月日、場所、演奏者や機材のシステムなどのデータを記入すること。</p> <p>(2) 録音技術を評価の対象として希望する場合 既存の曲(オリジナル作品も可)を自ら録音した作品(5～10分程度)1～2点(*)と、それについての日本語による解説。(1作品につきA4用紙4枚以内。録音、ミキシングに関する詳しいデータを記入すること。)</p> <p>(3) 音楽や音響の研究を評価の対象として希望する場合 音楽・音響に関する日本語による論考(本文4000字程度、形式は自由)</p> <p>(*) 音のみの作品の場合はCD-R, DVD-Rで、映像をとまなう場合はDVD-R Blu-rayで提出する。また、再生にあたって特別な注意を要するときには、それについても解説に記入すること。作品(メディア)と楽譜または解説は、各作品ごとに氏名と題名を書いた封筒に入れること。</p> |

個人情報の取り扱いについて

独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律（以下「個人情報保護法」という。）により、本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用については、入学選抜に係わる業務のほか、次のとおりとする。

1. 利用目的について

- (1) 合格者の住所・氏名等の個人情報を入学手続に係わる業務で利用する。
- (2) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学後の学籍管理等の修学に係わる業務並びに健康診断等の健康管理に係わる業務で利用する。
- (3) 入学手続者の住所・氏名等の個人情報を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に係わる業務で利用する。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に係わる業務で利用する。
- (5) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を個人が特定できない形で統計処理等の付随する業務及び入学案内業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用する。

2. 第三者への個人情報の提供について

本学が取得した個人情報は、「個人情報保護法」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはない。

ただし、次の場合必要最低限の情報を提供することがある。

- (1) 上記1. (1)～(5)の個人情報を取扱う業務を、個人情報の適切な取扱いに関する契約を締結したうえで、外部の事業者へ委託する場合
- (2) 本人の利益となる次の学外関係者に情報提供する場合
 - ①音楽教育振興会（音楽学部の教育研究、学生の課外活動などを支援するための学生の父母により組織される会）
 - ②同声会（音楽学部同窓会）
 - ③東京芸術大学生生活協同組合

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

⑦ 平成28年度 受験曲目提出用紙〔声楽専攻〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

| | | |
|-------|-----|------|
| 専 攻 等 | 声 種 | 受験番号 |
| ※ | | ※ |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作 品 名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|----------|------|------|-------|----------|------|
| A | イ | | | | |
| | ロ | | | | |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作 品 名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|----------|------|------|-------|----------|------|
| B | ハ | | | | |
| | ニ | | | | |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作 品 名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|----------|------|------|-------|----------|------|
| C | ホ | | | | |
| | ヘ | | | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 曲名はオペラ・アリアの場合、役名及び冒頭の歌詞を原語で記入すること。
 3. 演奏曲は選択群A, B, C, 指定記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ)によって指定するので、この用紙のコピーを試験当日持参して、指定された演奏曲を確認すること。
 4. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 5. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

⑧ 平成28年度 受験曲目提出用紙〔オペラ専攻〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）〔外国人留学生〕】

| 専 攻 等 | 声 種 | 受験番号 |
|-------|-----|------|
| ※ | | ※ |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作 品 名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|-----|------|------|-------|----------|------|
| A | イ | | | | |
| | ロ | | | | |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作 品 名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|-----|------|------|-------|----------|------|
| B | ハ | | | | |
| | ニ | | | | |

| 選択群 | 指定記号 | 作曲者名 | 作品名 | 曲 名 (原語) | 演奏時間 |
|-----|------|------|-----|----------|------|
| C | ホ | | | | |
| | ヘ | | | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 曲名はオペラ・アリアの場合、役名及び冒頭の歌詞を原語で記入すること。
 3. 演奏曲は選択群A, B, C, 指定記号(イ・ロ・ハ・ニ・ホ・ヘ)によって指定するので、この用紙のコピーを試験当日持参して、指定された演奏曲を確認すること。
 4. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 5. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

⑨ 平成28年度
 受験曲目提出用紙
 [ピアノ研究分野]
 【東京藝術大学大学院音楽研究科
 (修士課程) [外国人留学生]】

| | |
|---------|---------|
| 研 究 分 野 | 受 験 番 号 |
| ピ ア ノ | ※ |

◎本冊子に定めたとおりの曲目で、必ず25分以上のプログラムを記入すること。

| 曲目 | 作 曲 者 名 | | 曲 名 | 調 名 | 演奏時間 |
|-----|---------|--------|-----|-----|------|
| (A) | | | | | 分 秒 |
| (B) | (イ) | Chopin | | | 分 秒 |
| | (ロ) | | | | 分 秒 |
| (C) | 自由 曲 | | | | 分 秒 |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

⑩ 平成28年度
 受験曲目提出用紙
 [オルガン研究分野]
 【東京藝術大学大学院音楽研究科
 (修士課程) [外国人留学生]】

| | |
|---------|---------|
| 研 究 分 野 | 受 験 番 号 |
| | ※ |

課題曲 (A)

| 課題曲 | 作曲者名 | 曲 名 | 調名 |
|-----|----------|-----|----|
| (1) | J.S.Bach | | |
| (2) | J.S.Bach | | |
| (3) | | | |

アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。
 (どちらかに○をつける)

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」をオルガンで受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

**⑪ 平成28年度
受験曲目提出用紙
〔弦楽研究分野〕
【東京藝術大学大学院音楽研究科
(修士課程) [外国人留学生]】**

| | |
|----------|------|
| 研究分野・楽器名 | 受験番号 |
| | ※ |

課題曲

| 課題曲 | 作曲者名 | 曲 名 |
|-----|------|-----|
| 1 | | |
| 2 | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を弦楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

※氏名は裏面に記入すること。

⑫ 平成28年度

受験曲目提出用紙(管打楽研究分野志願者用)

| | |
|-------|------|
| 楽 器 等 | 受験番号 |
| ※ | ※ |

自由曲

| 楽器名 | 作曲者名 | 曲名 | 調名 |
|-----|------|----|----|
| | | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 管打楽研究分野で課題曲選択がある場合は、選択した曲も記入すること。
3. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を管打楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
4. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

氏 名

| | |
|--------|--|
| 編 成 | |
|--------|--|

※氏名は裏面に記入すること。

(いずれかに○)

| | | |
|----|------|--|
| I | 個人 | |
| II | グループ | |

⑬ 平成28年度
受験曲目提出用紙〔室内楽研究分野志願者用〕

| | |
|------|------|
| 研究分野 | 受験番号 |
| 室内楽 | ※ |

| 作曲者名 | 曲名 | 調名 |
|------|----|----|
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

☆グループ受験の場合、共演者名を必ず記入すること。

| | |
|------|----|
| 共演者名 | 1. |
| | 2. |
| | 3. |
| | 4. |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を室内楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

氏 名

※氏名は裏面に記入すること。

⑭ 平成28年度
受験曲目提出用紙〔古楽研究分野志願者用〕

1. 演奏曲目
(志願する楽器名に○を付ける)

| | |
|-----|------|
| 楽器等 | 受験番号 |
| ※ | ※ |

| 楽器名 | 作曲者名 | 曲名・楽章名 | 調名 |
|---------------------|------|--------|----|
| バロック 声楽 ・ | | | |
| バロック ヴァイオリン ・ | | | |
| バロック チェロ ・ | | | |
| リコーダー ・ | | | |
| チェンバロ ・ | | | |
| バロック オルガン ・ | | | |
| フォルテ ピアノ | | | |

2. アシスタントの必要の有無 [有 ・ 無] アシスタントは本学が用意する。
(バロックオルガン志願者のみどちらかに○を付ける)
3. 伴奏用チェンバロとして、a'=440のフレンチタイプ (音域 FF-f''', 8'8''4'ヤング第2調律) の
使用希望の有無
[有 ・ 無]
(バロック声楽志願者のみどちらかに○を付ける)

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を古楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

氏 名

※氏名は裏面に記入すること。

(いずれかに○)

| | |
|-----|--|
| 琴古流 | |
| 都山流 | |

⑮ 平成28年度
受験曲目提出用紙〔尺八研究分野志願者用〕

| | |
|------|------|
| 研究分野 | 受験番号 |
| 尺 八 | ※ |

琴古流・都山流それぞれの選択曲2曲

| | |
|----|--|
| 曲名 | |
| 曲名 | |

共通曲1曲

| | |
|----|--|
| 曲名 | |
|----|--|

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を尺八で受験する者もこの用紙を提出すること。
3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

氏 名

※氏名は裏面に記入すること。

⑩ 平成28年度
受験曲目提出用紙〔能楽囃子研究分野志願者用〕

| | |
|------|------|
| 研究分野 | 受験番号 |
| 能楽囃子 | ※ |

該当事項を○で囲むこと。

| 専攻 | 相手方 | シテ方 | 笛 | 太鼓 | 選択曲 | |
|---------|-----|------------|---|-----|------|------------|
| 笛(一噌流) | } | 観世流 宝生流 | } | 有・無 | 楽・神楽 | |
| 小鼓(幸流) | | | | | | 一噌流 森田流 |
| 大鼓(高安流) | | | | | | |
| 太鼓(観世流) | | | | | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を能楽囃子で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

(ふりがな)

氏 名

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

**⑰ 平成28年度
受験曲目提出用紙**

〔音楽教育研究分野志願者で「楽器等の
実技試験」をピアノで受験する者〕

【東京藝術大学大学院音楽研究科
(修士課程) [外国人留学生]】

| | |
|---------|---------|
| 研 究 分 野 | 受 験 番 号 |
| 音 楽 教 育 | ※ |

| 課 題 曲 | 作 曲 者 名 | 曲 名 | 調 名 |
|-------|---------|-----|-----|
| (A) | | | |
| (B) | Chopin | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
2. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。

| |
|--------|
| (ふりがな) |
| 氏 名 |

②① 平成28年度
 声楽専攻・オペラ専攻
 実技担当教員希望届

【東京藝術大学大学院音楽研究科（修士課程）
 【外国人留学生】】

| 専 攻 | 声 種 | 受験番号 |
|-----|-----|------|
| | | ※ |

●指導を希望する教員名を記入すること。

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--|--|-------|-------|-------|-------|--|-------|-------|------|-------|------|-------|--|--|--|--|-------|------|-------|-------|------|-------|--|--|--|--|
| 希 望 教 員 名 | 第1希望 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第2希望 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 第3希望 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【参考】平成28年度声楽実技担任教員一覧（予定）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">佐々木典子</td> <td style="width: 25%;">平松 英子</td> <td style="width: 25%;">菅 英三子</td> <td style="width: 25%;">大島 洋子</td> <td style="width: 20%;">佐藤ひさら</td> </tr> <tr> <td>島崎 智子</td> <td>日比 啓子</td> <td>三縄みどり</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>永井 和子</td> <td>青木美稚子</td> <td>中島 郁子</td> <td>手嶋真佐子</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川上 洋司</td> <td>吉田 浩之</td> <td>櫻田 亮</td> <td>市原 多朗</td> <td>福井 敬</td> </tr> <tr> <td>永田 峰雄</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>福島 明也</td> <td>勝部 太</td> <td>甲斐栄次郎</td> <td>河野 克典</td> <td>萩原 潤</td> </tr> <tr> <td>長谷川 顕</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> | | | 佐々木典子 | 平松 英子 | 菅 英三子 | 大島 洋子 | 佐藤ひさら | 島崎 智子 | 日比 啓子 | 三縄みどり | | | 永井 和子 | 青木美稚子 | 中島 郁子 | 手嶋真佐子 | | 川上 洋司 | 吉田 浩之 | 櫻田 亮 | 市原 多朗 | 福井 敬 | 永田 峰雄 | | | | | 福島 明也 | 勝部 太 | 甲斐栄次郎 | 河野 克典 | 萩原 潤 | 長谷川 顕 | | | | |
| 佐々木典子 | 平松 英子 | 菅 英三子 | 大島 洋子 | 佐藤ひさら | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 島崎 智子 | 日比 啓子 | 三縄みどり | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 永井 和子 | 青木美稚子 | 中島 郁子 | 手嶋真佐子 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 川上 洋司 | 吉田 浩之 | 櫻田 亮 | 市原 多朗 | 福井 敬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 永田 峰雄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福島 明也 | 勝部 太 | 甲斐栄次郎 | 河野 克典 | 萩原 潤 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長谷川 顕 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

- (注) 1. ※印欄は記入しないこと。
 2. 音楽教育研究分野志願者で「楽器等の実技試験」を声楽で受験する者もこの用紙を提出すること。
 3. この用紙は出願時に入学願書等と一緒に提出すること。